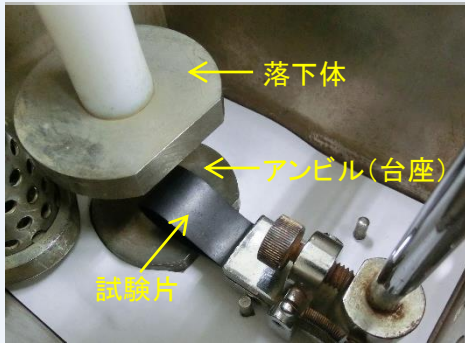


低温特性評価＜材料規格試験＞

各種材料が凍結し脆くなる温度帯での特性を調べる試験です。規格外の材料及び製品について試験片作製からの対応が可能です。試験の詳細、試験片作製などご相談ください。

◆耐寒性試験(低温落すい試験)

試験片を長さ方向に半分に折り曲げた状態で低温雰囲気中にて5分間冷却後に落下体を落下させ、試験片に生じるひび割れの有無を調べます。

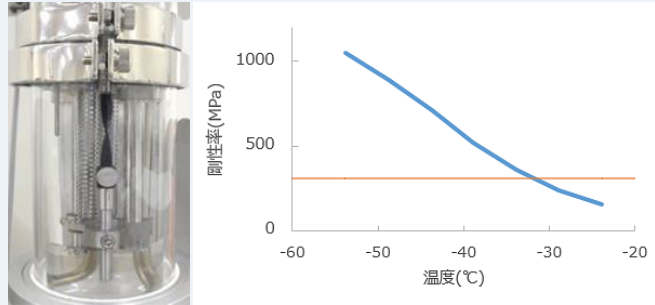


試験状況

試験規格	JIS K 6772「ビニルレザークロス」 JIS K 6404-3「ゴム・プラスチック引布」11.3 B法
試験片	20 mm × 100 mm
温度	-70°C～室温
熱媒体	エタノール
落下体の質量	1.5 kg～4.5 kg (標準2.5 kg)

◆柔軟温度試験

試験片を-70°Cに冷却後、温度を5°C間隔で昇温し、各温度で一定のトルクをかけ、ねじれ角度を測定します。温度-剛性率曲線から剛性率310 MPa時の温度を柔軟温度として求めます。

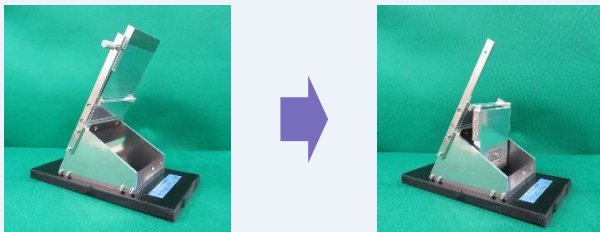


試験状況及び温度-剛性率曲線

試験規格	JIS K 6773「ポリ塩化ビニル止水板」 ASTM D 1043
試験片	6.35 mm × 64 mm (JIS K 6773規定)
温度	-55°C～ (温度範囲はご相談ください)
熱媒体	エタノール、水

◆低温曲げ試験①

試験片をガラス板に挟んだ状態で低温雰囲気中に規定時間冷却後、冷却槽内で専用曲げ治具に取り付け、速やかに留め具を外してフレキシングプレートに自由落下させた時に、試験片に生じる破損、クラックの有無を評価します。

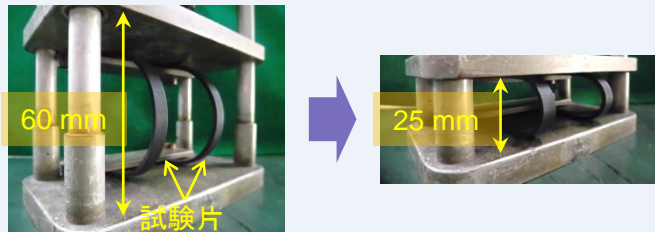


試験状況

試験規格	JIS K 6404-3「ゴム・プラスチック引布」11.2 A法
試験片	25 mm × 100 mm
温度	-70°C～室温
熱媒体	空気

◆低温曲げ試験②

専用の平行板試験治具に取り付けた試験片を低温雰囲気中にて5時間冷却後、平行板の間隔を60 mmから25 mmまで速やかに移動させ試験片を押し曲げた時に、試験片の折り曲げ部に生じる亀裂、破壊の有無を評価します。



試験状況

試験規格	JIS B 2401:2005「Oリング」
試験片	6.3 mm × 114 mm
温度	-40°C～室温
熱媒体	空気